

いつの時代でも稼ぎ続ける力

(まさに今、行動しないは?)

コロナ禍がもたらした社会変化と今後の予想

【コロナ禍がもたらした社会変化】

◆非常事態宣言時（見えない敵への恐怖）

今までの普通が・・・、例えば、

- ・普通に会社や学校に行けること
- ・普通に仕事や勉強ができること
- ・普通に外食や遊びや旅行に行けること 等々、

挙げたらきりがありませんが・・・、
 “普通の生活”→日常、
 それが当たり前だと思っている日常が、
 「如何に“ありがたいこと”なのか」ということに改めて気づかされる

◆非常事態解除後（新しい生活様式、新しい価値観）

- ・オンライン化の更なる加速
⇒テレワーク、オンライン授業、オンラインによる飲み会や帰省 等々
- ・キャッシュレス化、店舗の無人化の加速

コロナ禍がもたらした社会変化(国内)



■ 医療・感染予防

- ソーシャルディスタンス、マスクの重要性
- 医療資源の不足、PCR検査の不足
- 防護服、フェイスシールドの不足(代替品の製造)
- 新型コロナウイルス治療薬の迅速承認
- 医療崩壊の危険水域から回復
- 死亡者数の割合が著しく低い(日本の奇跡)
- 抗原検査法の開発
- 全自動検査システムの開発(フランス共同開発)
- 感染者接触アプリ(COCOA)の開発(匿名化を重視)
- 院内感染対策の推進、オンライン診療の開始
- 全国の約8割の病院で経営悪化

■ 行政

- 特別定額給付金による家計の支援
- ひとり親世帯への臨時特別給付金
- 学生支援緊急給付金
- 新型コロナウイルス感染症対応休業支援金
- 持続化給付金(中小企業200万円、個人事業主100万円)、家賃支援給付金による中小企業支援
- 雇用調整助成金
- 審査や申請に時間がかかる、倒産に至るケースも
- 薬事承認の迅速化
- サプライチェーン改革
- 東京オリンピック・パラリンピックの開催延期

■ 教育・生活

- 学校休校(3月～5月)
- GIGAスクール構想前倒し、オンライン化へ向けた取り組み
- 奈良県G Suite for Educationを導入(日本初)
- 大学オンライン授業(端末・ネットワーク環境に差)
- 教育格差が課題、子供たちの心のケア
- 学校再開後のソーシャルディスタンスの在り方が課題
- 入試(コロナ対策として追試2回実施)
- 9月入学への移行検討・見送り
- マスク、消毒液の不足、デマによるトイレトペーパー不足
- 飲食等デリバリー利用の拡大
- プラスチックごみの増大

■ 仕事・産業

- テレワークの推進(全国実施率27.9%、東京都49.1%)
- 出社率58.5%(緊急事態宣言下)
- 74%テレワーク実施できない(東京商工会議所調査)
- 緊急事態宣言解除後のテレワーク実施率約23%
- 緊急事態宣言解除後も若者・女性でテレワーク継続希望
- GDP:3、4月累計-8.4% リーマンショック上回る
- 観光業界・飲食店・遊泳娯楽・イベント・スポーツに打撃
- 服飾関連企業赤字、倒産
- 非正規雇用の雇止めが加速
- 農業・水産:飲食店営業自粛に伴う、供給過剰
- 外国人技能実習生来日延期に伴う人手不足

※コロナ禍後の社会変化と期待されるイノベーション像（次ページ参照）

コロナ禍がもたらした社会変化と今後の予想

【参考】

国内外識者(120名)による社会変化予測



Technology Strategy Center

分類	キーワード	
社会像	デジタル資本主義／進歩資本主義／ステークホルダー資本主義／頭脳資本主義／非接触経済社会	
潮流	デジタルシフト	・コロナ禍による流れは 不可逆的、加速
	グローバリゼーション	・ 後退という見方 と、企業レベルではリスクヘッジのためますます 分散を図るという見方
	政府の在り方	・危機下で 国家の役割が拡大 したが、 収束後も維持 (ベーシックインカム導入も)
	政治体制	・民主制かIT全体主義か
	世界秩序	・現状、無極化だが、 米国と超大国として頭角を現し始めた中国との対立激化 も
	国際情勢	・大恐慌後で 第2次大戦前の1930年代に類似
社会の 仕組み ／産業 構造	リモート化 オンライン化	・あらゆる コミュニケーションがオンライン化 (テレワーク、オンライン授業、遠隔診療、商談、娯楽など)。 人に会うのは本当に必要な一部分 ・直接会った時の 「ライブ感覚」の価値向上
	分散化	・ 居住と就業先が地理的に分散 。地方に広い家を持つ、一定期間を地方で働くなど
	産業構造	・ 飲食業や観光業は産業規模としてかなり縮小 ・オンラインによる 新ビジネスが次々登場 ・リモート化、分散化など 新しいライフスタイルに伴う需要 ・3密対策を盛り込むなどこれまでにない市場セグメントが登場
	技術開発	・人間の行動変化が技術革新をリード(人間中心)。倫理観がより重要に
	企業行動	・利益追求だけではなく、 自然と共存する考え方 に。長期目線の経営に
	雇用	・AI活用加速により余剰労働力が増大。逆に言えば、 労働から解放された社会へ
	個人間の関係	・ 共助、利他性、互酬性 などが組み込まれた社会に
	監視社会	・ITにより、 人間の感情までリアルタイムで監視 することも可能に(バイオ監視社会)

(注) 2020年3月28日から5月11日に刊行された主要メディア(朝日新聞、産経新聞、日本経済新聞、毎日新聞、読売新聞、週刊エコノミスト、週刊ダイヤモンド、週刊東洋経済、日経ビジネス、文藝春秋)から識者の見解(インタビュー、寄稿等)を抽出し、重要キーワードを整理したもの。

8

※コロナ禍後の社会変化と期待されるイノベーション像(新エネルギー・産業技術総合開発機構技術戦略研究センター作成資料)

コロナ禍がもたらした社会変化と今後の予想

【参考】

コロナ禍後に起こる仕事・産業の変化

Technology Strategy Center

NEDO

- リモート化、オンライン化、テレワークの推進
 - バーチャルオフィスの拡充
 - オンラインコミュニケーション技術の性能向上 **バーチャル会議による3Dデータの可視化**
ホログラム(立体映像)技術でバーチャル空間上一緒に見えるように見せる技術
 - 通信セキュリティ技術(耐タンパ性技術、高度暗号化技術)
 - 対面でのコミュニケーションも重要(雑談から生まれるアイデア)だが、コミュニケーションのリモート化によるストレス増への対応に課題
 - 企業:国内の地方部に拠点を設ける“ニアショア”あるいはサテライトオフィスを検討

<打撃を受ける業界>

- 賃貸オフィスの減少、鉄道・航空、輸送機器、服飾、飲食(飲み会の減少)、コンサート、スポーツ観戦、映画館、パチンコ、娯楽遊泳

<伸びる業界>

- 通販、輸送・宅配、IT・AI・ロボットなどの先端技術、通信事業、ゲーム、動画配信

19

※コロナ禍後の社会変化と 期待されるイノベーション像 (新エネルギー・産業技術総合開発機構技術戦略研究センター作成資料)

コロナ禍後に起こる仕事・産業の変化

Technology Strategy Center

NEDO

- 製造業のスマート化が鍵⇒IT先端技術による業務の効率化、競争力人材確保

<サプライチェーンリスクマネジメント>

- サプライチェーンの分散化 中国から新興国などへ、ヒト・モノ・カネをシフト¹
- 生産システム低コスト化と**サプライチェーン強靱化**⇒両立が課題 国家的な戦略に期待²
- サプライチェーンの情報収集が重要⇒トヨタ:10次サプライヤーの情報をクラウド上で可視化³
- **サプライチェーンリスク制御**⇒将来の需給変動や地政学的変動を考慮したDXツールが有効³

<日本の製造業の未来 データ駆動型バリューチェーン・ネットワーク構築⁴>

- **モノづくりのバーチャル化**:試作プロセスの変革としてVR技術が注目 モノづくりを丸ごと可視化
アナログ(熟練技術者)とシステム(デジタル)の融合が鍵 製造業内のIT技術者の育成が急務⁴
- 人間拡張の進展:アバターと自律ロボットを複合 製造現場での接触抑制技術の導入
- **製造業のサービス化**:人との接触抑制により促進⁵⇒アフター・ソリューションサービス デジタル化
- DX時代を前提としたイノベーションの創出⇒漸進的から破壊的なイノベーションへの転換が鍵⁵
- 従来の大企業による自前主義や企業や研究機関の安定的・長期的関係依存型モデルからベンチャー企業による経済の新陳代謝やフレキシブルな労働市場をベースとするモデルに変換⁵

<中小製造業の集積・スマート化>

- コロナ禍の長期化 = 中小製造業は壊滅的打撃 支援策が必要 永久劣後ローンの必要性⁶
- これまでつながりがなかった企業とのマッチング(同業、異業種)
- **中小製造業の集積によるスマート化**、ベンチャーエコシステムの実現
- 日本にしかない**コア技術**を持つ企業の保護(海外企業の買収阻止)
- オープンイノベーションの推進やベンチャーエコシステムの構築、グローバル人材の育成⁵

出典:1.真壁昭夫(法大) 2.加谷理一(経済評論家)、3. 多田和弘(クニエ)、4. 鍋野敬一郎(フロンティアワン)、5. 元橋一之(RIETI)、6. 山口義行(立教大) ²⁰

【引用：コロナ禍後の社会変化と 期待されるイノベーション像】

⇒ https://www.meti.go.jp/shingikai/sankoshin/sangyo_gijutsu/kenkyu_innovation/pdf/019_02_00.pdf

ネットが更に加速する過渡期

【まさに今、ネットは更に加速する過渡期】

- ◆報道されている通り、
 - ・飲食店やサービス業など新しい生活様式に中でやらざるを得ない状況
 - ・経営悪化や収入減につながる企業も増加
 - ・それが続くと・・・、
雇用される身であるサラリーマンは？
- ◆不安を煽っているわけではありません。
 - ・「明日は我が身」っていうことを言いたいだけ
 - ・国の助成金、地方の援助・・・、
ここでそれをくどくど語っても意味がないので、
 - ・こんな時こそ、まさに『**いつの時代でも稼ぎ続ける力**』を身に付けるべき
- ◆テレワークやオンライン帰省などネットの恩恵は言うまでもありません
 - ・今までネットをSNSの一部でしか考えなかった人も、学校もそうですが、
授業を動画で配信する、テレワークが身近で実効性のあるものになってきている
 - ・まさに今、ネットは更に加速する過渡期であると実感する

まさに今、行動しないは？

【それでも行動しない人って？】

◆今回のコロナ禍で少なくともネットで稼げることを知る機会があったとしても

- ・「自分には関係の無い話」、「なんだかんだで大丈夫」、「なんとかなる」
⇒お金をいつまでも他者依存によって得るものだと信じてやまない
- ・自然災害、経済危機など定期的に起こり得るであろう変化に対応した生き方、
生き残る術を見ず見す逃すようなもの

◆そんな中、あなたは、他の人よりも少しネット、それもネットビジネスに興味があって

- ・この動画を視聴している段階で既に人よりも先に行っているはず
- ・世間の大多数はそういう行動の必要性すら認識していない
⇒行動したい、変わりたいと思ってもあなたのようにこの動画を見ていないから

まさに今、行動している**あなたの選択は正しい！！**